

2020年度 スチュワードシップ活動方針

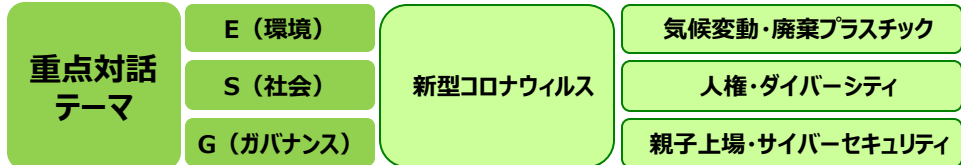
社会・事業環境の激変を踏まえ、ESGインゲージメントを通じて企業の取組や行動変容を後押しするとともに、インゲージメント等を通じて得た情報の投資判断への統合（ESGインテグレーション）を本格化

新型コロナウイルス感染症危機など、外部環境の変化を踏まえたESGエンゲージメントの推進

①ビジネスモデルの持続可能性など、危機を踏まえた企業の対応方針等について意見交換

（ESGに関する重点対話テーマ）

- 【E・S・G】新型コロナウイルス感染症：
 - ✓ 取引先等のサプライチェーン全体の安全・健康確保や従業員の働き方改革への取組
 - ✓ 中長期的に持続可能なビジネスモデルへの変革に向けた経営方針（デジタルトランスフォーメーション対応等）
 - ✓ 今回の危機を踏まえたレジリエンス強化・BCPの再構築
- 【E】気候変動・廃棄プラスチック問題
 - ✓ TCFD提言に基づく開示・グリーンリカバリー対応
 - ✓ 廃棄プラスチック問題に対する企業の取組方針
- 【S】人権・ダイバーシティ
 - ✓ 国別行動計画の策定を踏まえた、人権デューデリジェンスの実施や苦情処理メカニズム構築への対応
 - ✓ 役員・従業員のダイバーシティ確保に向けた取組
- 【G】親子上場・サイバーセキュリティ
 - ✓ （親会社に対し）上場子会社に対する今後の対応方針
 - ✓ サイバーセキュリティの確保に向けた取組



②対話手法の多様化を通じて、エンゲージメントの実効性を向上

- 協働エンゲージメント※を通じた企業への影響力発揮および他の先進的な投資家の手法・考え方の把握・当社対話活動への適用
 - ビデオ会議・電話会議や書簡の送付など、対面对話以外のエンゲージメント手段の積極的な活用
- ※機関投資家協働対話フォーラム・Climate Action 100+・30% Club Japan Investor Group・生保協会スチュワードシップ活動WG

ESGインテグレーションの本格化

ESGアナリスト機能の発揮により、アセット横断的なESGインテグレーションを高度化

- ガバナンス・気候変動・廃プラに関する分析・評価手法の体系化を通じた株式・債券投資へのインテグレーション強化
- ESGに関する重要テーマ（人権・廃プラ等）について、新型コロナウイルス感染症等の外部環境を踏まえたマテリアリティを新規策定